

令和6年度
横浜市指定介護保険サービス事業者等
集団指導講習会資料

訪問入浴介護編



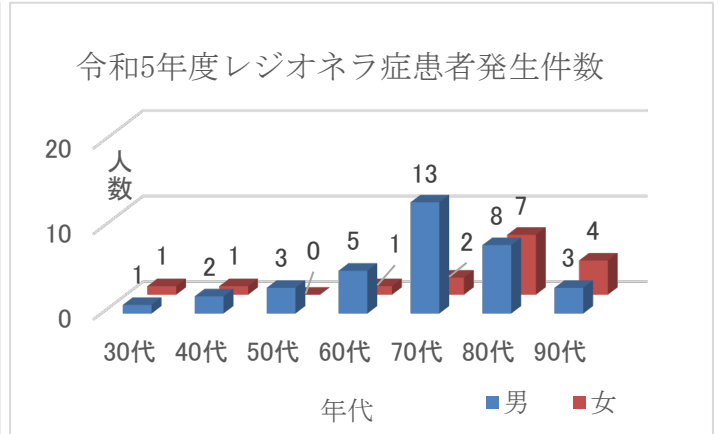
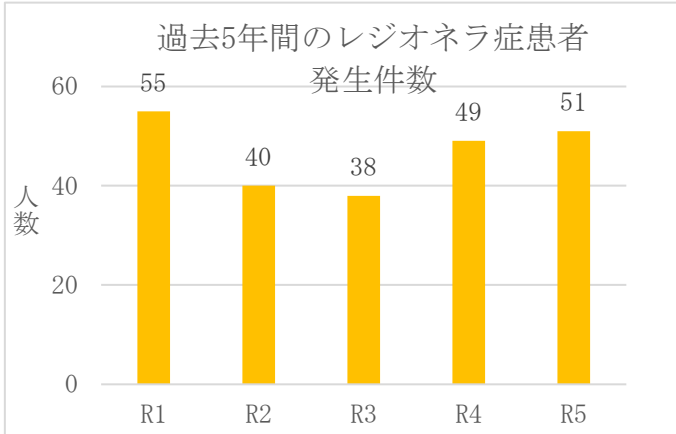
実際の事業所運営に当たっては、
「運営の手引き」を参照してください。

目 次

【訪問入浴介護編】

1	レジオネラ症発生防止対策	1
---	------------------------	---

1 横浜市でのレジオネラ症発生状況



2 レジオネラ症とは

(1) 症状

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌を含む水しぶきを吸入することが原因で起こる感染症です。高熱や呼吸困難などの症状が現れる「レジオネラ肺炎」と、発熱や筋肉痛などの症状が現れる「ポンティアック熱」に分けられます。一般的に高齢者や呼吸器疾患をお持ちの方などが感染しやすい傾向があります。レジオネラ肺炎の場合は急激に症状が悪化し、亡くなる場合もあります。

(2) 感染経路

ヒトからヒトへの感染はありませんが、浴場設備や給湯設備など、お湯が滞留する場所でレジオネラ属菌が増殖し、感染原因となることがあります。機械浴槽や気泡発生装置のある浴槽等、お湯が排水しきれず溜まりやすい構造がある場合も注意が必要です。国内の感染事例では、家庭用のポータブル加湿器が原因となった事例や冷却塔を原因とした集団発生事例もあります。

3 設備の管理について

レジオネラ症を防ぐためには、お風呂や加湿器などは日常的な清掃に加え、レジオネラ症を防止するための設備に応じた維持管理も必要です。「横浜市レジオネラ症防止対策指導要綱」で定める管理方法は、以下の通りです。

また、管理を実施した記録等を作成し、設備の適切な維持管理を行いましょう。

(1) 浴槽設備

ア 追い炊き機能付浴槽

お風呂の残り湯を追い炊きし再び利用している場合には、配管や浴槽内でレジオネラ属菌が増殖し、レジオネラ症の感染源となるおそれがあります。

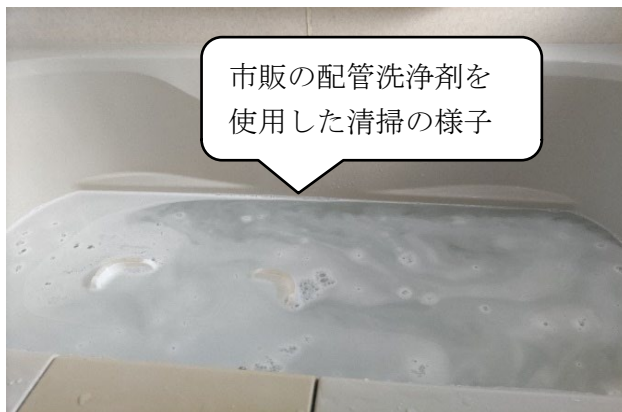
管理のポイント

お湯は利用者ごとに換水し、利用後はよく乾燥させる

ぬめりが生じないように、洗剤やスポンジを使って清掃する

追い炊き配管は洗剤等を利用し、定期的に汚れを排出する

※追い炊き配管の清掃は、メーカーの取扱説明書をよく確認しましょう。



イ シャワーヘッド



管理のポイント

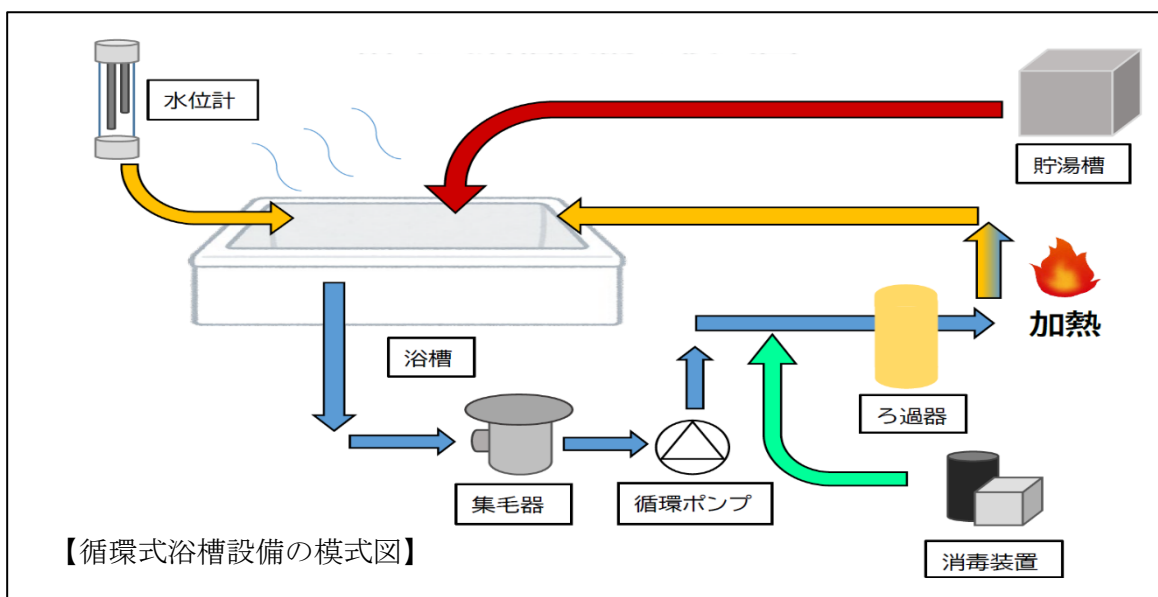
定期的に通水し、お湯が溜まらないようにする

スポンジやブラシを使って表面を清掃する

部品を取り外せる場合は分解し、消毒薬に浸け置きするなど、内部の汚れを取り除く

ウ 循環式浴槽設備

浴槽の湯をろ過器を通して循環させることにより、浴槽内の湯を清浄に保つ浴槽設備や、加温のため循環させている浴槽設備が該当します。



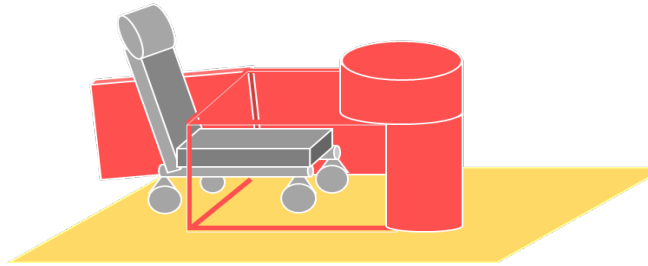
管理のポイント（一部）
お湯は毎日換水し、清掃する（ろ過器を使用している場合には、1週間に1回以上）
週に1回以上、ろ過器や循環配管等の清掃及び消毒を行う
定期的に気泡発生装置、連通管などの湯が滞留する箇所を清掃する
浴槽水の塩素濃度を頻繁に測定し、遊離残留塩素濃度 0.4～1.0mg/L を維持する
1年に1回以上定期的に、浴槽水のレジオネラ属菌検査を行う
※詳細な維持管理方法については、「ストップ！！レジオネラ」をご確認ください。

（2）機械浴槽（特別浴槽）

機械浴槽は複雑な構造であることが多く、清掃が不十分になりがちです。

管理のポイント（一部）
機械浴槽の製造者が作成する機器取扱説明書を基本に、設置者と製造者が連携して、機械浴槽ごとに具体的な維持管理手順書を策定する
1年に1回以上定期的に、浴槽水のレジオネラ属菌検査を行う（※循環式のみ）

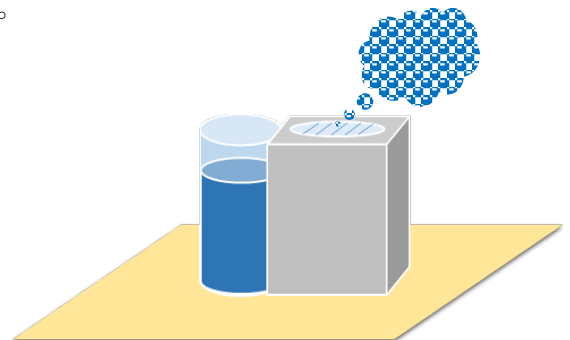
※詳細な維持管理方法については、「ストップ！！レジオネラ」をご確認ください。



（3）ポータブル加湿器

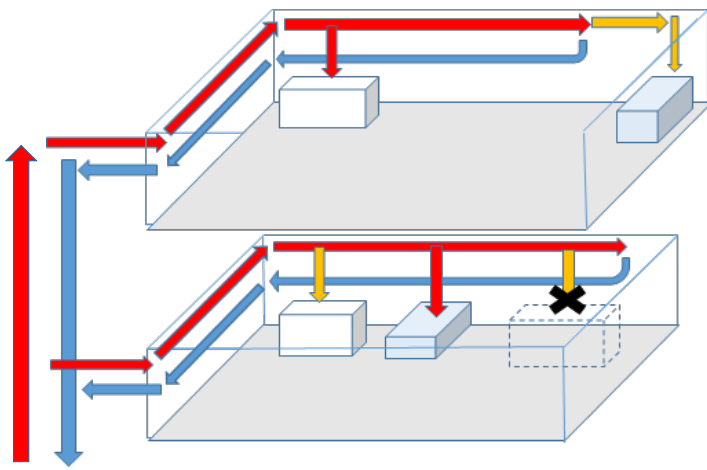
内部や貯水タンクで増殖したレジオネラ属菌を含む水しぶきを吸込み、レジオネラ症の感染源となるおそれがあります。また、管理者が不明確になりがちです。いつ、だれがどのように管理をしているか、明確にしましょう。

管理のポイント
水道水を使用する
タンクは毎日換水・清掃し、内部にぬめりが生じないようにする
使わないときは水を抜き、よく乾燥させる
メーカーの取扱説明書に従って管理する

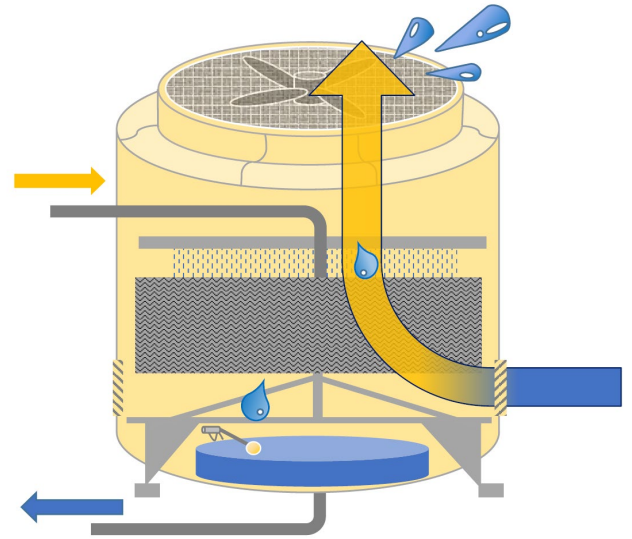


（4）その他の設備

上記の設備のほか、「横浜市レジオネラ症防止対策指導要綱」で定める維持管理が必要な設備を利用する場合は、適切な維持管理方法について確認しましょう。



【中央循環式給湯設備の模式図】



【冷却塔の模式図】

※詳細な維持管理方法については、「ストップ！！レジオネラ」をご確認ください。



横浜市では各設備の詳細な維持管理方法について「横浜市レジオネラ症を防止するための技術的管理指針」を定めています。内容を解説したパンフレット「ストップ！！レジオネラ」を見ながら、維持管理に注意が必要な対象設備を利用していないかご確認ください。



4 日常管理の記録等

レジオネラ属菌が増殖しやすい設備については、性能や配管系統図、管理責任者などを明確にした管理台帳や日頃の管理方法を明らかにした管理手引書、清掃・消毒の記録票などを備え、計画的に管理することが必要です。横浜市ホームページではこれらの作成様式例を掲載していますので、施設で利用する設備に合わせて作成し、設備や管理者の変更があった場合は見直しを行いましょう。

5 緊急時の対応

施設の利用者にレジオネラ症が疑われる場合や、設備からレジオネラ属菌が検出された場合には、直ちに所在区の福祉保健センター生活衛生課へ連絡してください。施設では利用者の健康状況を調査し、設備の清掃・消毒を実施します。また、レジオネラ属菌が増殖した原因を究明し、再発防止のため管理方法の見直しを行います。

【問い合わせ先】 医療局生活衛生課

TEL : 045-671-2456

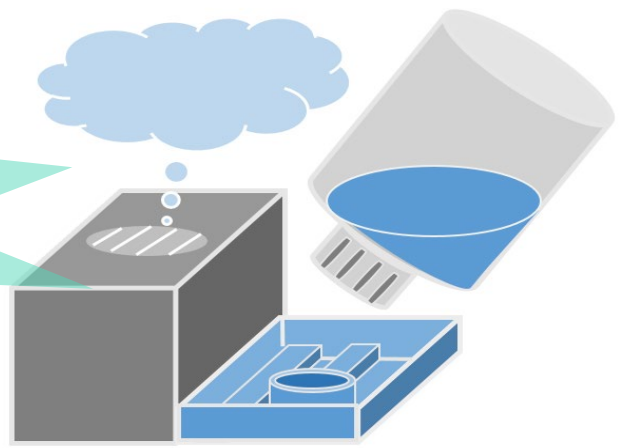
e-mail : ir-seikatsueisei@city.yokohama.lg.jp

・タンクは毎日換水・清掃し、内部にぬめりが生じないようにしましょう

・メーカーの取扱説明書に従った管理をしましょう

・長期間使用しないときは水を抜き、よく乾燥させましょう

(超音波振動などの加湿器を使用するときには、特に注意して管理しましょう)



ポータブル加湿器

家庭で行う

レジオネラ症発生防止対策

シャワーヘッド



・定期的に通水し、長期間お湯がたまらないようにしましょう

・スポンジやブラシを使って表面を清掃しましょう

・部品を取り外せる場合は分解し、消毒薬に浸け置きするなど、内部の汚れを取り除きましょう

追い炊き機能付浴槽



・お湯は毎日換水しましょう

・洗剤やスポンジを使って清掃し、ぬめりが生じないようにしましょう

・追い炊き配管は洗剤等を利用し、定期的に汚れを排出しましょう

追い炊き機能付浴槽の配管や加湿器のタンク、シャワーヘッドの内部など、お湯や汚れが滞留しやすい場所で増殖したレジオネラ属菌を原因とする感染事例が発生しています。適切な清掃・消毒を行いましょう。

レジオネラ症とは

レジオネラ肺炎

主な症状: 高熱、呼吸困難、筋肉痛、吐き気、下痢、意識障害

潜伏期間: 2~10日

特徴: 急激に重症化することもある

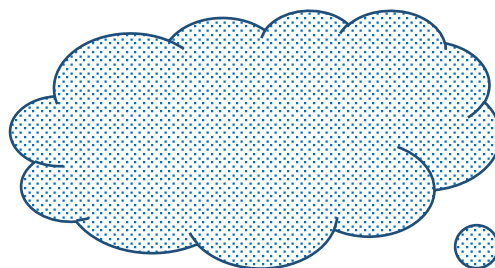
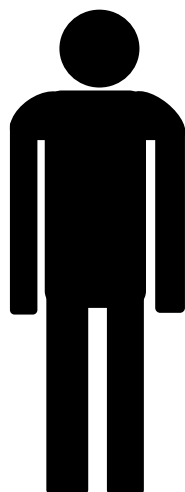
ポンティアック熱

主な症状: 発熱、寒気、筋肉痛

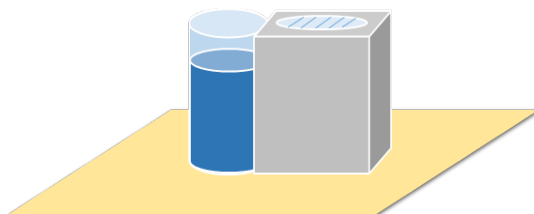
潜伏期間: 12時間~3日

特徴: 一般的に軽症で、数日で治ることもある

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌を含む水しぶきを吸入することが原因でおこる感染症です。高熱や呼吸困難などの症状が現れる「レジオネラ肺炎」と、発熱や筋肉痛などの症状が現れる「ポンティアック熱」に分けられます。レジオネラ属菌はぬめりのある水の中で増殖し、一般的に高齢者や呼吸器疾患をお持ちの方などが感染しやすい傾向があります。ヒトからヒトへの感染はありませんが、お湯やぬめりがたまる箇所でレジオネラ属菌が増殖し、その水しぶきを吸い込むことでレジオネラ症に感染するおそれがあります。



お問合せ先



福祉保健センター	電話番号	福祉保健センター	電話番号	福祉保健センター	電話番号
鶴見区	045-510-1845	保土ヶ谷区	045-334-6363	青葉区	045-978-2465
神奈川区	045-411-7143	旭区	045-954-6168	都筑区	045-948-2358
西区	045-320-8444	磯子区	045-750-2452	戸塚区	045-866-8476
中区	045-224-8339	金沢区	045-788-7873	栄区	045-894-6967
南区	045-341-1192	港北区	045-540-2373	泉区	045-800-2452
港南区	045-847-8445	緑区	045-930-2368	瀬谷区	045-367-5752

令和6年4月 作成

作成者 横浜市医療局生活衛生課(横浜市中区本町6-50-10)

電話番号 045-671-2456

FAX 045-641-6074

E-mail : ir-seikatsueisei@city.yokohama.lg.jp

関連 HP : <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kaiteki/legionella/legikatei.html>



※個別のご相談はお問合せ先に記載の連絡先をお願いします。